

# 十字園だより

第133号

## 十字園二〇二〇の春

今年には新型コロナウイルスの流行で、日常生活が一変してしまいました。幸いにも、原稿作成時点で十字園の皆さんはお元気に過ごされています。手洗い・消毒はもちろん、食堂での対面をやめたり、外出や外泊を控えたり、できる範囲での対策も行いました。

天候が良い日が多くなり、青空の下、法人内の歩行に出かけています。屋外へ出て体を動かす、陽を浴びる。咲き誇る花を愛でる。そして、やりたいことができる自由がある。こんなに

園庭の花々



当たり前のことが、これほど素晴らしいということに改めて感じました。

ご家族や関係者の皆様には、対策についてご理解とご協力を頂き、感謝いたしております。一日も早く、安心して毎日を過ごせるようになることを願います。

(小柳)



## ONE TEAM

園長  
高橋 英樹

この度の新型コロナウイルス感染症拡大により面会や帰省について大幅に制限させて頂いた事にご理解とご協力賜り誠に有難うございます。ご家族にはご不安とご心配をおかけしております。現時点では、ご利用者、職員とも感染しておりませんが、まだまだ予断を許さない状況が続いています。感染予防に万全を期したうえで一日でも早く日常が戻る事が出来るよう鋭意取り組んでいきたいと思っております。引き続きご理解とご協力の程お願い致します。

さて、今年度の十字園において重点的に取り組んでいきたい事は寮単位の枠組みで止

まらない横断的な支援体制を確立していきたいと考えています。一つの寮だけではなく、支援方法の確立を目指し、そして更なるご利用者の生活の質の向上に努めていきたいと考え、その準備期間として今年度は取り組んでいきます。

今後、ご利用者の状態変化による寮の移動や職員の働き方改革等により職員数が確保しづらい状況が想定出来る中で支援の継続を第一に考え、仮に寮や担当職員が変わったとしても継続した支援が出来るための体制づくりを考えていく一年にしていきます。

今、支援課に「ONE TEAM」という横断幕をお裾分けして頂き掲示しています。正に十字園全体で一つのチームを形成し、これまで以上にご利用者に対し、気持ちの面で熱く、そして誠実に向き合っていきたいと思えます。ご家族には今後も変わらぬご支援賜りますようお願い致します。

## 家族会について

家族会会長  
金田 和子

今年度は新型コロナウイルスに振り回される年になりそうです。

年度末の帰省も見送りとなり、6月、7月の面会日、懇談会も中止となりました。

入所者の皆さんが楽しみにしている、コーヒー喫茶も、3月からお休みしております。

家族会の総会は、文書で承認していただくという異例の事態となりました。

皆様のご協力、ありがとうございました。

改選に伴う新役員につきましては、総会とカーニバルが中止ということで、来年度に

持ち越すことにいたします。

数年前から、入所者の高齢化が問題になっておりますが、最近特に感じるのは、家族(両親)の高齢化です。家族会の名簿を見ても住所欄が十字園になっっている方が、多くなりました。家族会の役員の選出もスムーズにいかなくなり、今後の運営方法も考えなくてはなりません。

皆さんと話し合いの場を持つ事は、なかなか困難な状況ではありますが、ぜひ皆さんのご意見を聞かせていただきたいと思います。

皆さんとお話ができる日を楽しみにしております。

今後もよろしく申し上げます。



## 男性寮の目標について

課長補佐 平野 智也

『私たち職員は皆さまそれぞれの個性を大切にします。また、その個性を日々の生活や活動に反映できるようお手伝いさせていただきます。』

これは男性寮の目標です。今年度、男性寮では寮ごとの目標だけでなく、基本的な価値観として共有するための目標を設定し取り組みを行います。

内容は、個性に再注目することを大切なテーマとしてあり、「ご本人らしさとは？」という視点を意識した支援の実践を通して、ご利用者の新たな一面を発見する機会にもなればと考えています。



引原主任 平野補佐 高橋主任

## 手をつなごう

課長補佐 高橋 保江

十字園にはたくさんの方がいます。最近改めて思ったことです。ご利用者も職員も来園される方も色々な人がいます。そして、たくさんの方の素敵な出会いがここにはあります。

ある方から、「とても明るくて良いところですね。」等と声を掛けられると、素直に大変嬉しく思います。

女性寮の今年の目標は、「ご利用者の生活や自由な暮らし・活動参加の機会を大切にす。」として取り組んでいきます。1年の終わりには「こんなことが出来るようになりました。」とご報告できるよう、手と手を取り合い、皆様と充実した日々を送りたいと思っております。



小柳主任 池田主任

## 縁の下の力持ち

十字園の正面玄関を入ってすぐ右手にある事務室。明るくていつも笑顔の絶えない事務のメンバーは縁の下の力持ち!!! その中でも用務員の石山さんは、電球の交換、備品の修理や外の草刈りなど多岐にわたる仕事をして頂いています。困った時、職員はいつも石山さんをお呼びして、その度に石山さんは「良いですよ!」と快く受け付けてくださいます! いつもお世話になっております。これからもよろしく願います。(支援員一同より)



高橋 森 三岡  
中野 石山

# ひのき寮

主任 高橋 正人

新年度を迎える前から、偽預言者の啓示なのか？と疑心暗鬼になる日々が続きました。まさに、コロナ禍に苛まれ、窮屈で制約された環境の中でご利用者、ご家族にとってはもどかしい毎日だったと思います。支援者にとっても同様でしたが、危機的状况で落ち込んでいても仕方ありません。出来る事を探し、工夫しながらのサービスマ提供を行ってまいりました。具体的には同頁の記事をご覧ください。

今年度は寮目標のキーワードである「新しい」を意識して取り組んでまいります。

この十字園だより発行時の生活現況は定かではありませんが、スタッフ一同、明けな夜はないという思いをひとつにして務めさせていただきます。今年度も宜しくお願い致します。



職員紹介

## ご機嫌な夕食

5月終わりの見せないコロナウイルス。そろそろ外出したいけれどもできない。しかし普段とは違ったおいしいものが食べたい。そんな利用者さん方の要望に応えるべく、とんかつ政ちゃんをテイクアウトしました。肉です!! 密にならないようにカツやハンバーグを堪能しました。お弁当の中味は具沢山で密です。お弁当の密はうれしいですね。またおいしいご飯食べましょう。(吉田)



## ひのき寮、ファームはじめました

今年度から、ご利用者の高齢化に伴う認知症の予防対策として家庭菜園を始めました。支援課奥の中庭にてトマト、ナス、さつまいも、きゅうりの苗、ひまわりの種も植えました。農作業を行うことで土に触れることの癒し、野菜や花を育てることの充実感、収穫時の達成感を得ることができると考えます。そして、一番の醍醐味はなんといっても収穫後の食べる時です。(木村裕)



# いぶき寮

主任 池田 智治

今年度、いぶき寮では大目標として『ご利用者の生活リズムに沿ったスローライフの推進』を、小目標は昨年度に引き続き『フクワク・ドキドキをプロデュースvol2』を掲げ、取り組んでいます。

ゆっくり・ゆったりとした中(決してダラダラではなく)にも良質のサービスを提供していく事に主眼を置き、減り張りのある日常を送って頂く手助けを行っております。

我々にとって、当たり前のように思われる事柄も施設の中では困難に感じる場面があります。その溝を少しずつ埋めていこうと寮職員一丸となって誠心誠意取り組みますので宜しくお願致します。

## 職員紹介



### 口腔体操について

いぶき寮では、夕食前の時間に「口腔体操」を行っています。唾液の分泌を促すマッサージをしたり、発声練習等行っています。「OOさん、お手本お願いします」と言うと、その方は張り切って「みんなーいくよー」と声を出してくださいます。

皆さん楽しみながら取り組まれておりました。年齢と共に、むせやすくなったり飲み込みが悪くなります。皆さんで楽しみながら予防出来たら、と思います。(吉田)



### コロナに負けない笑顔

コロナウィルスの影響で、ご利用者様も外食や買い物も出来ず我慢の日々が続いています。そうした中でも、気分転換ができるよう、お散歩をしたり訪問販売を利用することで変わらず穏やかに過ごされています。

ご家族に会えなかつたり外出できないストレスを抱えながらも、「パン買った!!」と素敵な笑顔を見せて下さったり、「私も行く!!」といつものように張り切ってお散歩に出かける姿がありました。

(藤岡)

# けやき寮

主任 引原 望武

今年度けやき寮では『個々にあった日中活動を確立させる』『インシデントや事故を昨年度よりも10%減らす』『ご利用者に年間1人3回は寮行事等を含めた余暇活動に参加して頂く』という3つの目標を掲げました。

1つ目は昨年度からの継続になります。2つ目は園全体での目標でもあり、なので寮としても力を入れていきます。3つ目は新型コロナウイルスの影響もありますが、皆さんが楽しめる活動を考え提供していきたいと思えます。

それぞれの目標に対して、こまめにモニタリングを行い、1年後には目標が達成できるように努めていきます。今年度も、よろしくお願ひします。

## 職員紹介



西澤 吉井

## カラオケ行事

5月下旬、園内でカラオケ行事を行いました。コロナウイルスの為、外出が難しく、ストレスも溜まってしまっている日が続く中、「今日はカラオケがあるんだ」と、とても楽しみにされていた様子。

カラオケが始まると、大きな声を出して歌を歌い、また、並べられたオードブルやお菓子を食べて楽しみました。外に出られなくても、園の中では陽気な声が響きました。

(江口)



## 歩行活動

今年度からけやき寮では、日中活動時間に、園内歩行二周以上を目標に活動しております。天気の良い日は法人敷地内の外周や近隣の公園にも歩行に出ています。利用者の皆様の良い気分転換にもなっているようで、「お散歩ある?」「お散歩行きたい」と利用者の方から歩行に出たいとお願いされることもあり、とてもいい活動となっております。

(小島)



# さつき寮

主任 小柳 雅美

今年度のさつき寮の目標は「つながる・広がる」お一人あたり一つ以上新しいことに取り組みます」としました。

この目標には、ご利用者自身が何かに挑戦することだけでなく、職員の取り組みが重要です。結果的にご利用者がやりたいことや夢を実現することに繋がることももちろん大事ですが、支援者がこんな生活が送れたら良いのではないかと考え、そのための支援を始め、そのための踏み出すことが目標達成になると考えています。

慌ただしい業務やマンネリ化しがちな生活の中で、何か一つでも新しい変化が生まれることを目指し、一年間頑張っていきたいと思えます。

## 職員紹介



三條

小田

佐藤(三)

小柳主任

山際

中里

若林

佐々木

山田

樋浦

安中

石塚看護師  
(いぶきと兼務)

佐藤(り)

佐藤(す)

馬場

## 喫茶店

普段は職員が入れたものを飲んだり、お母さん喫茶でお客さんとしてお茶を楽しんでいる皆さん。今日は私たちが「お・も・て・な・し♡」

エプロン、三角巾を身に着け、一杯ずつ丁寧に飲み物を注いでいきます。余暇の時間にみんなで作ったコースターを並べ、おやつを配り、積極的にお手伝いをしてくれた働き者の店員さんたちでした。(中里)



## デリバリーでお寿司

5月下旬、まだ外食が難しい時期のため、お昼にお寿司の出前を取りました。皆さん「うわ〜すごいね!」と目の前にある金色の器に目を輝かせ、色とりどりのちらしずしに大興奮。「これはまぐろだね!」「エビだ〜!」と楽しくお話しながらあっという間に完食。幸せな時間となりました。

今後もこのように園内での食事が楽しいものとなるよう、時間を作っていきます。(樋浦)

